

響け！ 和の音♪

# みどりのコンサート

平成 28 年 6 月 12 日  
安倍ごころ

## 御詠歌

午後 1 時～

奉詠

花園流無相教会秘在寺支部  
夏椿の会

## 和楽器アンサンブル

午後 2 時～

演奏

アンサンブル奏 KANADE  
特別出演 縄巻修巳

## 御詠歌コンサート

ウイキペディアによれば、

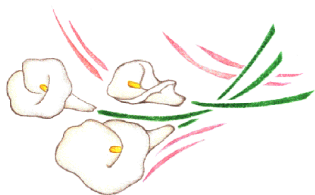
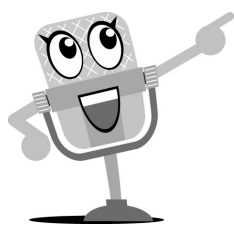
「御詠歌とは、仏教の教えを五・七・五・七・七の和歌と成し、旋律（曲）にのせて唱えるもの。日本仏教において平安時代より伝わる宗教的伝統芸能の一つである。五七調あるいは七五調の詞に曲をつけたものを「和讃」（わさん）と呼び、広い意味では両者を併せて「御詠歌」として扱う。

となっております。

私たち臨済宗妙心寺派の御詠歌は花園流と言い、八十年ほどの歴史と六十五回に上る全国大会歴（年一度の開催）があります。最近では一般の方々が御詠歌を耳にする機会はほとんどなく、あっても葬儀の時くらいになってしまいました。御詠歌にはいろいろな曲があり、決して故人を偲ぶためのものばかりではありません。

花園流には「所作」という独特の手のフリがあります。巻末に簡単な説明をしておきましたが、本来、練習の手段である所作は、この場にふさわしくないかも知れません。それでも花園流の文化遺産とも言える所作を是非見ていただきたく、プログラムに入れました。前回のようには伴奏や舞を入れることはできませんでしたが、飽きずにお聞きいただけましたら幸いです。

秘在寺会員はまだ練習歴の浅いので、お聞き苦しい点多々あると思いますが、御詠歌に興味を持って下さる方が一人でも増えることを願ってのコンサートです。どうぞごゆっくりお聞き下さい。



# プログラム

## ① 彼岸会御和讃

暑さ寒さも過ぎゆけば 影も光もなごむなり  
 つらき浮き世も耐えゆかば 喜び生くる日は近し  
 祖先のことも偲びつつ かたみに法の道したい  
 六度の船に棹さして さとりの岸に到るべし  
 いざ行かん 行きて彼岸の花を見ん  
 生死(まよい)の海は波あらくとも



大意

夏の暑さも冬の寒さも過ぎ去れば、春秋の温和な季節がやってきます。苦難の多い人生でも辛抱すれば嬉しく楽しい日がまいります。ご先祖の冥福を祈りながら互いに仏の道を尊び、六波羅蜜の教えを実行してさとりの彼岸に渡りましょう。  
 さあ行こう。行ってさとりの花を見よう。迷いの海はどんなに波が荒くても

## ② 達磨大師御和讃

《所作》

(くぎようらいさん なむだるま えんかくだいしだいそんじや)  
 恭敬礼賛南無達磨 円覚大師大尊者  
 (みなみいんどのこうしこく)  
 南印度の香至国 王子と生まれ給いしが  
 中略  
 (さんどく)  
 三毒に燃ゆる心の鬼火さえ 消えて痕なし面壁の床  
 なむだるまだいそんじや)  
 南無達磨大尊者

大意

達磨円覚大師大尊者を敬い、礼拝、讃嘆いたします。大師は、南インドの香至国の王子としてお生まれになりましたが、  
 (略部分) 富も位も捨てて仏弟子となりひたすら修行に励み、お釈迦様から数えて二十八代目の祖師と仰がれるお方となりました。中国に渡って面壁坐禅なさること多年、教えは中国全土のみなら



## ③ 宗門安心章御和讃

《所作》

人と生まれて法にあう 縁はゆかし三宝を  
 仰ぎまつりて朝夕に 南無釈迦仏と唱うべし  
 自心仏ぞめぎめよと 仏祖のさとしありがたし  
 一坐かかさず自信もて 迷いの闇を破るべし  
 仏のみ子の五戒をば とわにたもちてそむくまじ  
 日頃のつとめそのままに 報恩謝徳とはげむべし

大意

人としてこの世に生まれ、仏法にめぐりあうことができた。このありがたいご縁をよろこび、仏・法・僧の三宝を心から崇敬し、朝に夕に南無釈迦牟尼仏と一心に唱えましょう。  
 自心がそのまま仏なのだとはつきり自覚しなさい、という仏様や祖師方の教えはまことにありがたいことです。一日一度は静かに坐って、自心これ仏と信じ、心の迷いから生じる暗い思いを捨て去りましょう。  
 仏様のお弟子として守らなくてはならない五つの戒めを、いつまでもしつかりと守り、背いてはなりません。日常生活がそのまま仏様へのご恩返しと心得て、一生懸命に勤めましょう。

## ④ 無常御和讃

《所作》

静かに無常の有様を 思えばこの世は仮の宿  
 生者必滅会者定離 老少不定は世の習い  
 中略  
 あれを見よ 鳥辺の山の夕煙 それさえ風に遅れ先立つ  
 南無大悲観世音  
 一人きて一人で帰る死出の旅 花の浄土に詣る嬉しさ  
 南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏

大意

心静かにすべてのものが変わりゆくすがたを見れば、この世は



ただひとときの飯の宿に過ぎないと思われず。生命あるものは必ず滅し、会えば必ず別れがきます。老いも若きも死の時期は定かではありません。

あれをご覧なさい。鳥辺山に立ち上る夕煙を。その煙さえ無常の風に遅れたり先だつたりしていますよ。南無大悲観世音

この世に一人生まれきて、また一人である世に旅立つのです。でも寂しくはありません。花の極楽浄土にまいるのです、ありがた

いことです。南無阿弥陀仏。

※鳥辺山は京都の東山にあり、平安の昔から火葬・墓地の場所でした。ですから鳥辺山の煙と言えば、火葬の煙をさします。

### ⑤ 薬師如来御和讃

仰げばうるわし 薬師尊 東明るき浄瑠璃の世にましましてうつつなる つらき浮き世を見そなわす

〔中略〕

病みて苦しむ諸人を 誓いも深くあわれみて  
応病施薬たちまちに 療養したもう大医王  
南無薬師 恵みあふるる  
靈験のあらたかなるぞ 尊かりける

大意

仰ぎ見て拝みますと何とまあ美しいお薬師様でしょう。東に昇る朝日がきらきら輝いて、きよらかな寶石をちりばめたような世界から、つらい現実の世間をご覧になっています。

病気になるって苦しんでいる多くの人たちを、きつと治してあげますよ、と深く誓って、病気にぴたりと合うお薬を調合したちまち全快させてくださいます、もう最高の名医です。

心を込めて礼拝致します、薬師如来様。  
あふれる恵みのご利益をいただけるのはこの上もなく尊いこととございます。



※阿弥陀如来は「西方極楽浄土の教主」で、死後の極楽浄土を約束してくれる仏様、薬師如来は「東方瑠璃光浄土の教主」で現世での病氣平癒、安産祈願、特に眼病に靈験あらたかとされています。

### ⑥ 西国第七番の御詠歌 《所作》

けさみれば つゆおかでらの 庭のこけ  
さながらるりの ひかりなりけり

今朝、目覚めてこの岡寺の庭を眺めると、庭の苔におりた露が朝日を受けて、さながら瑠璃の玉のように光り輝いていました。

※岡寺は通称名で正式には「龍蓋寺(りゅうがいじ)」、西国三十三観音の第七番札所です。



出演 秘在寺支部 望月善美 杉山佐由利 杉山征子  
名波しのぶ 武山博子 武山真弥

夏椿の会【慶全寺】水野陽子【光増寺】平松綾子

「夏椿の会」は、新定院 鶺鴒邦子師に所作を学ぶ寺庭の会です。

◆「帰命頂礼(きみみょうちよろい)」で始まる御詠歌が多いのですが、その意味は

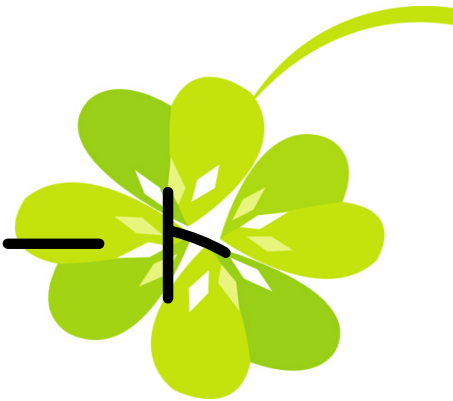
「帰命」は仏の教えを深く信じ、身命を投げ出して帰依きえし、従う厚い信心のこと、「頂礼」は頭を地につけてする礼のことです。ですから意味は「一心に帰依礼拝致します」となります。「礼拝」は一般には「れいはい」ですが仏教用語では「らいはい」です。

### ◆所作

花園流御詠歌の流祖岩田貞雲師は、楽譜のない時代、御詠歌を覚える手段として「所作」という手のフリを考案なさいました。所作はその手の動きの中に、鈴鉦の扱い、つまりチンとリンの場所を始めとして、メロディの高低、強弱、声の張り方までもが含まれています。楽譜ができてからは所作を学ぶ機会が減りましたが、御詠歌の本質を理解して歌うには所作を学ぶことが大切と思ひ、私たちは所作を覚えることに取り組んでいます。

響け！和の音♪

# みどりのコンサート



1. 春の海 宮城道雄作曲  
尺八 縄巻修巳 琴 伊東明子
2. 上弦の曲 沢井忠夫作曲  
尺八 縄巻修巳 琴 武山博子
3. 二つの田園詩 長沢勝俊作曲  
尺八 縄巻修巳 十七絃 武山博子  
琴 伊東明子
4. 映画音楽より  
いそしぎ  
ひまわり  
海の讃歌(タイタニックテーマ)  
尺八 縄巻修巳 十七絃 武山博子  
琴 伊東明子

## 縄巻修巳 プロフィール

静岡県牧之原市出身。  
広島大学入学時より都山流尺八、現代邦楽を学ぶ。  
横山勝也氏に師事、海童道及び琴古流尺八を学ぶ。  
山下無風氏に師事、  
古典奏法、現代奏法を学ぶ。  
篠笛を木部崎幸子氏、篠笛・能管を望月太八氏に師事。

オフィス「花の笛」代表 藤枝篠笛の会 代表  
指導:藤枝篠笛の会 岡部篠笛の会 榛原篠笛の会  
磐田笛の会 大東ふるさと太鼓

講師:常葉大学  
SBS学苑藤枝(篠笛) SBS学苑浜松(尺八・篠笛)  
公式ホームページ  
<http://music.geocities.jp/hananofue/>

## アンサンブルKANADE

琴 伊東明子  
武山博子

【特別出演】

尺八 縄巻修巳

奏

お問い合わせ  
秘在寺(054-294-0542)  
<http://ashita-an.hizaiji.net/>